

供の成長への関心を高めること、母子で食事をもつにつくったり、家族全体で団らんの機会をもつことなどを絶えず働きかける。

## 7. 指導援助の経過

### (1) 学級づくり

- 学級担任の決意
  - 毎朝、一番先きに学級に行く。
  - 常に生徒のまわりにいる。
  - うちとけて仲良く話し合える学級をつくる。
- 時間を守るしつけ（4～6月）
  - 自ら、授業の終始は勿論、すべての教育活動の時刻を守る。
  - 遅刻を許さない姿勢を示す——遅刻をする生徒と徹底して話し合う。
- 公平、公正、正義の徹底（5～10月）
  - あらゆる場面で、不正を見逃さない。
  - 差別的学級経営をやめる——生活班の廃止、公平な座席づくり、短学活の工夫。
  - 道徳、特別活動の授業のねらいと主題の再吟味。徹底した指導。
- 協働の実践（5～11月）
  - リーダーの育成——学級をよくしようと考える7人の生徒との話し合い、目標設定。
  - 給食を7人の生徒とともに配膳。
  - 体育行事とともに参加。
- 生徒との1対1の交流（6～11月）
  - 「生活ノート」でのふれあい。強制せず書く生徒を増やしていく。
  - 生徒とのかかわり方の研修——ロール・プレイングで、子供の中に入り込んでいく練習。
- 秩序の回復（9～11月）
  - 「私たちのクラスを一番いいクラスにしよう」
  - 「いいことはわがクラスから」

### (2) 指導体制

- 学級担任 父親的役割
- 技・家担任 女子、54歳、母親的役割
- 音楽担任 女子、24歳、姉的役割

- 各教科担任 学習相談
- スーパーヴィジョン 教頭

### (3) 指導援助担当者の研修

● ねらい  
教師が生徒を肯定的に評価し、愛情と承認の欲求に応える適切な表現のしかたを身につける。

● 方法等  
教頭の指導によるロール・プレイングの実習。

● 成果の一例  
・これまで時にあったパターン  
教師「毎日、不真面目な態度をしているが、自分のことについて少し考えてみるか」  
生徒「ああそうですか。そんなら先生の態度は何ですか」（ここで交流が途絶）

・肯定的な働きかけのパターン  
教師「（奇声に対して）明るく元気でいいねえ。  
でも時と場合によっては、ちょっと気になる人もいるだろうね」

生徒「カッとすると我慢できない性質だから」  
教師「普段の貴方からはとても想像できないけどね。今日は何かよいことがあったんだろう」  
生徒「先生、私のとこいつも見てるんですか」  
（交流が続く）

### (4) 学級担任による指導援助

#### ① A子に対して

● 学級担任に給食の盆を運んで来たとき  
学級担任（以下、「担」と表記）「ありがとう。心のこもっているわけ方だったね」  
A子（以下、「A」と表記）「うー」  
担「顔が輝いているよ」  
● 遅刻  
担「朝の食事のしたくや後始末大変なんだろう」  
A「エー、でも慣れてっから…」とすうーと通り過ぎていく。

● 遅刻を3日続けた  
A「（下を向きながら）熱があり、家を出るのが遅れました」（丁寧な言葉づかい）  
担「それは大変だ。保健室へ行ってみよう。そん